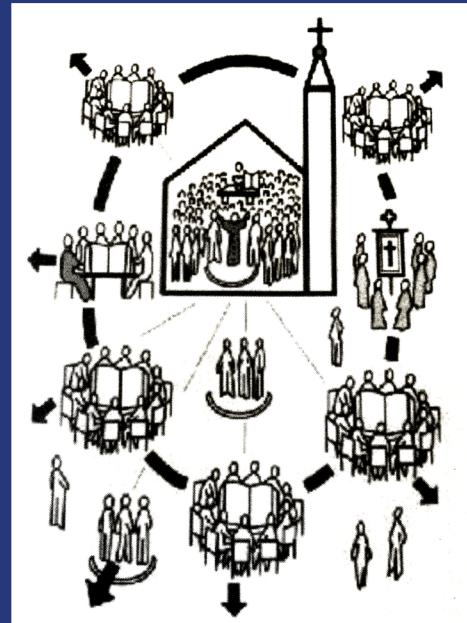


小共同体中心の教会

私たちが目指す小教区



* 「小共同体」とは、世界中でよく使用される言葉で、鹿児島教区で聞かれる「班」という言葉と同義語。今回は、「小共同体」という言葉を文中で使用。

左の絵は、私たちが目指そうとしている、「小共同体で結ばれた小教区共同体」を表したもの

全信徒は、自分の住む地域の小共同体（班）のメンバーになり、一つの小教区は、これら多くの小共同体（班）により構成される。絵の中で、小共同体のメンバーが広げて話し合っている本は、「聖書」で、「み言葉の分かち合い」が小共同体活動の基礎になる。そして、信徒たちの基本的な信仰の養成は、この小共同体の中でなされる。

黒いステantanを着た司祭がいるグループは、小教区評議会を表し、小共同体と同様「み言葉の分かち合い」を基礎に神のみ旨にかなう小教区共同体をつくるための活動を行う。

聖堂内の様子は、主日の聖体祭儀を表す。主日の聖体祭儀とは、すべての信徒が集まり、キリストとともに御父に感謝をささげる、一週間の生活全体の中心となる集いである。

各小共同体同士をつなぐ、また各小共同体と聖堂との間にある線は、各小共同体が互いに連携し、堅く結ばれていることを表す。

すべてのキリスト者は、各自の能力に応じて隣人に奉仕するよう召され、キリストをまだ知らない人々にもキリストの福音を宣べ伝える使命を受けているため、各小共同体から外側へ向かっている矢印は、信徒以外への関心と社会全体の福音化に貢献していく使命を表している。

小教区評議会の役割

小教区全体の取りまとめが、
小教区評議会の役割

小教区共同体に属している人たち
全員に希望と勇気を与え、
信徒一人ひとりの使徒的活動の
手助けをすることが、
役員たちの任務

各小共同体から選ばれた
小教区評議会の役員たちは、
各小共同体から小教区評議会へ、
また小教区評議会から
各小共同体へと、情報、提案
及び連絡を直接伝えること
ができる

「小共同体中心の教会」の
小教区評議会の役割は、
より積極的で前向きなものへと
変わり、教区シノドスで提言された
班制度の復活も、このような観点に
に基づいた検討が織り込まれつつある。

今回を含め、これまで5回にわたり、さまざまなタイプの小教区像をながめてきました。見方を変えれば、小教区の成長過程を確認してきたとも言えるでしょう。現在自分たちが所属している小教区は、どのタイプに近かったでしょうか？

私たちがめざす理想の小教区へと変わるためには、自分たちの小教区が優先的に取り組むべき課題は何なのでしょうか？